

まちの話題

話題・情報は、企画課へ

TEL 76-0212 FAX 76-0222
eメール yazu-kikaku@town.yazu.tottori.jp

令和6年度鳥取県優秀経営 農林水産業者県知事表彰を受賞



県知事賞を受賞された
前田規雄さん

鳥取県の農林業の発展に功績のあった方として、八頭町上野の前田規雄さんが鳥取県知事表彰（農林水産業者功労者）を受賞されました。

前田さんは、退職後本格的に農業を始められ、平成27年から令和5年までJA鳥取いなば船岡支店の白ねぎ生産部長、令和元年にはJA鳥取いなば白ねぎ生産出荷協議会の副会長、翌2年から3年に同協議会の会長を務められました。

会長時には、有利販売に繋がる活動をはじめ、白ねぎのPR活動を積極的に行うとともに、市場協議による秀品基準緩和の実現により生産者の収益増加を図るなど、白ねぎ栽培振興に寄与されました。
今後八頭町農業の発展に貢献していただくとともに、このたびの受賞を心よりお祝い申し上げます。

鳥取県の農林業の発展に功績のあった方として、八頭町南の小谷拓郎さんが鳥取県知事表彰（未来を担う青年農林水産業者）を受賞されました。

小谷さんは平成26年から28年まで、両親の元で親元就農研修を受け、大根の栽培技術を習得。令和2年1月に経営を譲り受けると、町認定農業者として、品種選定、緑肥の活用、マルチ栽培の導入など、新しい栽培方法を取り入れながら、広留野高原で伝統野菜の生産を守り続けています。

また、農閑期にはプロスノーボードとして活躍するなど、充実した「半農半X」を実践されています。
今後八頭町農業の発展に貢献していただくとともに、この度の受賞をお祝い申し上げます。



県知事賞を受賞された
小谷拓郎さん

サンコネックス(株)から 企業版ふるさと納税のご寄附



吉田英人町長から感謝状を受け取った
サンコネックス(株)の衣笠代表取締役（左）

サンコネックス株式会社（鳥取市千代水、衣笠孝太郎代表取締役）から、企業版ふるさと納税によるご寄附をいただき、感謝状贈呈式が10月25日（金）に町長室で行われました。
同社は、太陽光の固定価格買取制度がはじまる前から県内で省エネ、創エネ、畜エネの設備販売を実施。太陽光事業の他、飲食事業やアグリ事業などを展開することで地域に貢献してこられました。

衣笠代表取締役は「八頭町のまちづくり」に役立ててほしい」と話されました。

いただいたご寄附は「八頭町で楽しく交流事業」に活用させていただきます。ありがとうございます。

株式会社OSBSと産業・地域
活性化に関する協定を締結

八頭町と(株)OSBSビジネスグループは10月24日(木)、「産業・地域活性化に関する協定」を締結しました。

(株)OSBSは、障がいのある方を多く雇用し、グループ企業のシェアードサービス部門を請け負うほか、鳥取市内で農園業務を展開されています。今年7月には隼Lab.内に八頭オフィスを開設し、原木しいたけの栽培など農業関連事業のさらなる展開を進めておられます。

今後、町の基幹産業である農業の担い手不足という課題に対し、子育て世帯や障がいのある方など多様な働き手をマッチングすることで、八頭町の産業・地域の活性化を図る取り組みを町と連携して進めていきます。



協定書を掲げる眞鍋代表取締役社長(右)と吉田英人町長

能登半島大雨災害の被災地へ
郡家東小の児童が募金活動



郡家東小学校ボランティア委員のみなさん、ありがとうございました

9月に発生した能登半島大雨災害により被災された方々を支援しようと、郡家東小学校のボランティア委員が校内で協力を呼びかけ、義援金を集めました。

集めた義援金3万4千円が10月25日(金)、委員4名から吉田英人町長に手渡されました。

児童代表は「厳しい生活を送っている人の助けになりたいとみんなまで協力し、2週間かけて募金を集めました。復興に役立てていただけるよう被災地に届けてください」と話しました。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へ届けられます。

八頭ブラウンで国道29号沿線の
景観を守ろう

R29号沿線の景観形成事業の一環として、物産館みかど付近のガードパイプを濃いこげ茶色の「八頭ブラウン」に塗り替えるワークショプが、10月29日(火)、R29活性化委員会や国土交通省、地元住民など関係者ら約30名が参加して行われました。

この日は2時間ほどかけて約300メートルの区間にあるガードパイプを「八頭ブラウン」に塗り替える作業を行い、参加者は「無心になって作業できて楽しかった。もっとたくさんの人が八頭の美しい風景を見に来てくれるとうれしい」と話していました。



参加者らが手分けをして八頭ブラウン色に塗り替えます

下私都地区まちづくり委員会
10周年記念祭と収穫祭開催



桜の木の成長ときんさいやの発展を記念して集合写真をパチリ

11月3日(日・祝)、下私都地区福祉施設「きんさいや」で、下私都地区まちづくり委員会設立10周年記念祭と収穫祭が開催されました。

はじめに、岡森委員長をはじめ関係者らが地域の人々が花見を楽しめるようお願いを込め、桜の木を3本植樹。次の記念公演では、世界的に活躍するピアニスト黒瀬紀久子さんが5年ぶりに演奏を披露し、美しい音色に来場者は聴き入っていました。

式典後は、赤飯や豚汁、焼き芋などが振る舞われ、きんさいやで収穫した作物を囲んで秋の味覚を楽しみ、地域の絆が深まる温かいひとときを過ごしました。